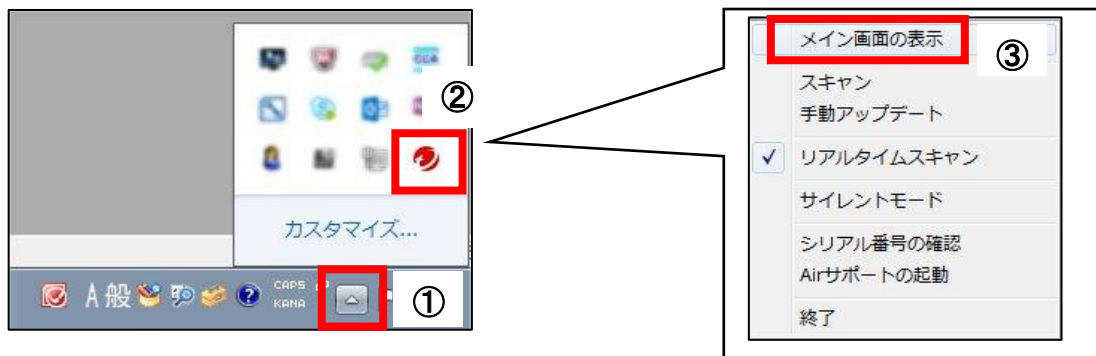


「ウイルスバスタークラウド」で奉行シリーズのバックアップに関するフォルダやファイルを 監視対象から除外する設定について

※25日12:00追記あり(4~7ページ)

※本手順および画面は「ウイルスバスタークラウド」の無料体験版を操作した場合の画面となるため、
実際の操作手順や画面とは異なる可能性があります。

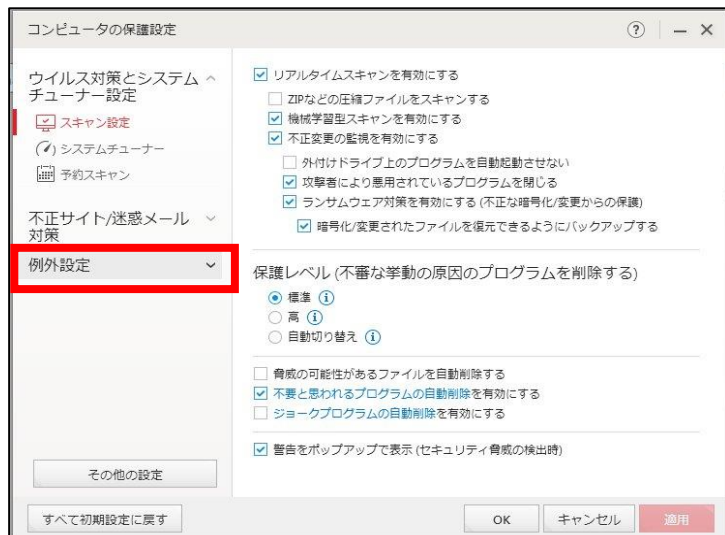
1. 「ウイルスバスタークラウド」のメイン画面を表示させます。



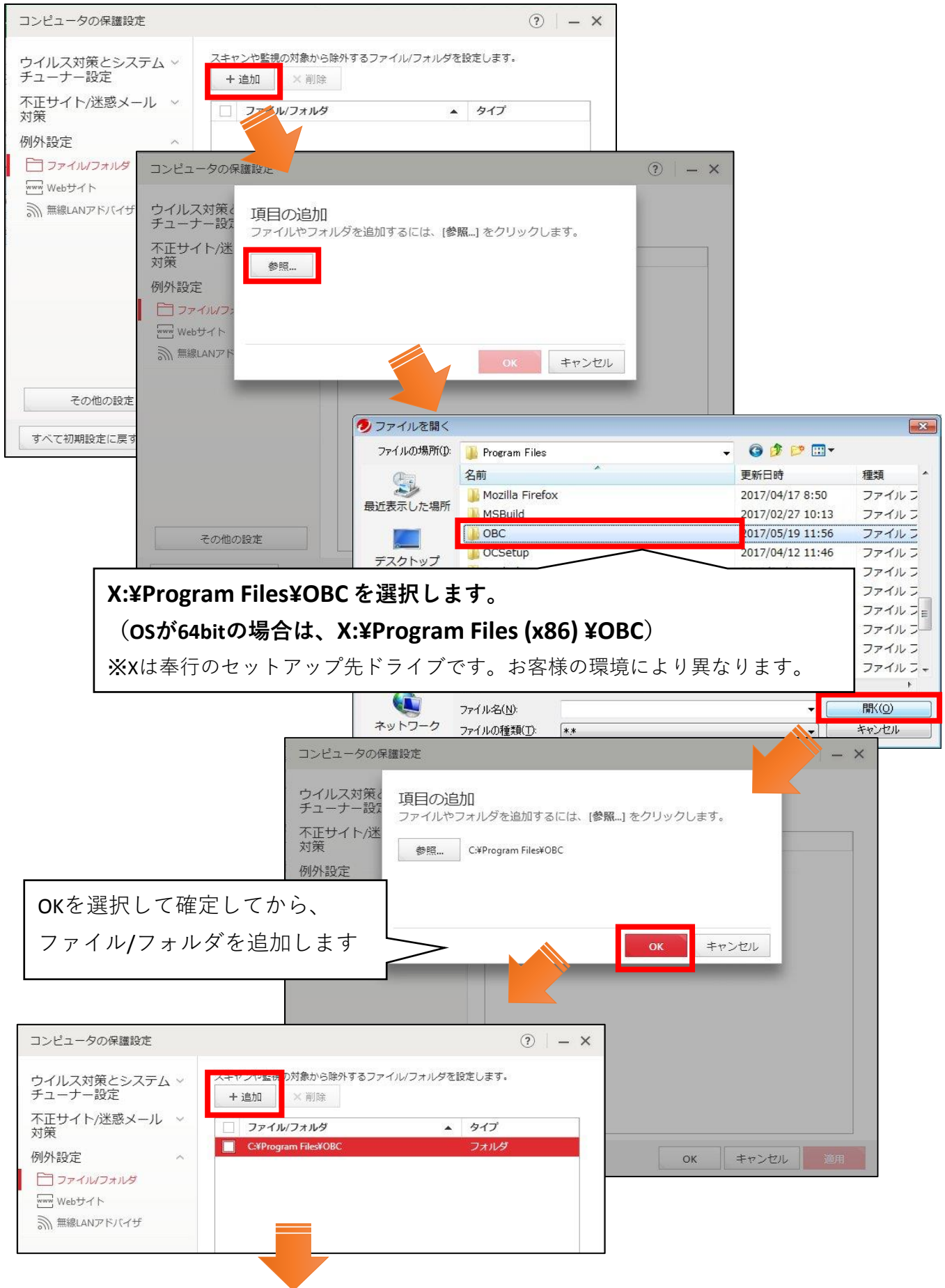
2. 設定のアイコンをクリックします。

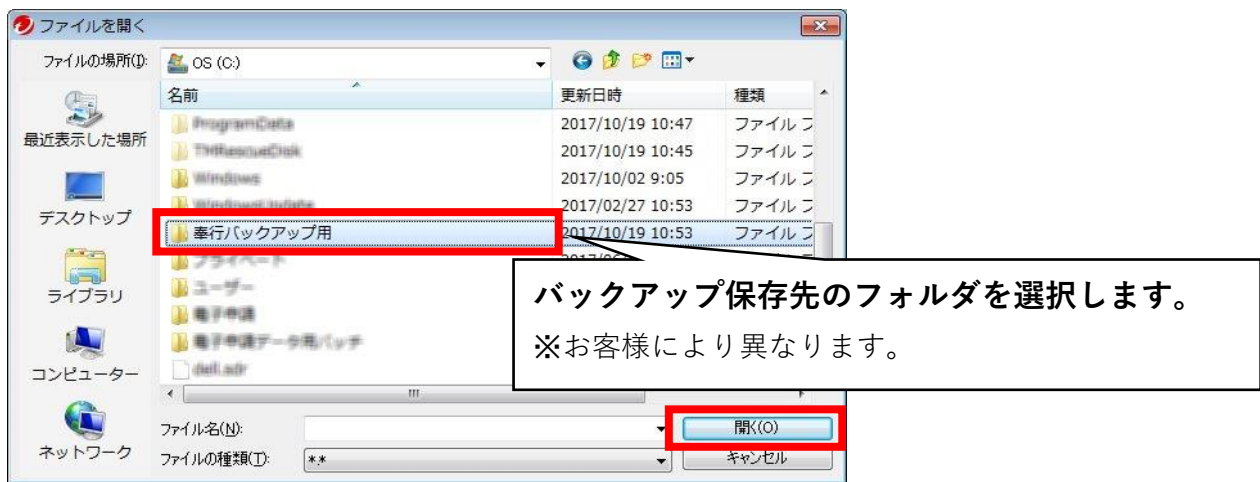


3. 「例外設定」を選択します。

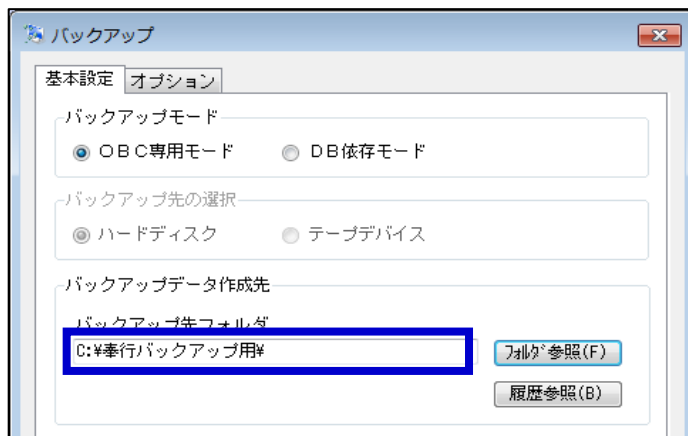


4. 監視対象から除外するフォルダを設定します。

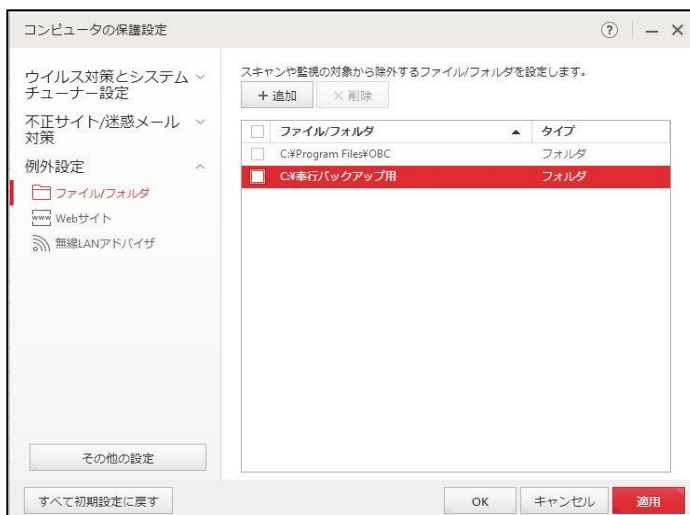




【参考】バックアップ保存先は、奉行シリーズの[バックアップ]画面でバックアップ先フォルダとして表示されている場所です。



5. フォルダが正しく設定されたことを確認します。



以下4～7ページを10/25 12:00に追記しています。

ここまでのページの手順で「X:\¥Program Files¥OBC」とバックアップ先フォルダの除外設定が済んでいる場合には、4～7ページの追記部分を実施してください。

↓↓--2017/10/25 12:00 追記部分-----↓↓

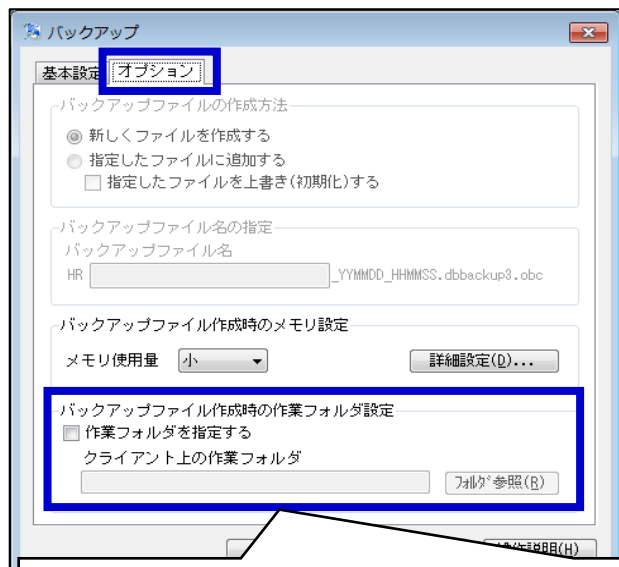
監視対象の除外フォルダに、バックアップの作業フォルダと一時フォルダ（Temp・%Temp%）を追加します。

【事前確認1】 バックアップの作業フォルダ場所は、バックアップの設定により異なります。

以下の手順で確認します。

①奉行シリーズの[随時処理]-[バックアップ]メニューを選択します。

②[オプション]ページの「バックアップファイル作成時の作業フォルダ設定」で「作業フォルダを指定する」にチェックが入っているか確認します。



●チェックが入っている場合

「クライアント上の作業フォルダ」に記載のフォルダが作業フォルダです。

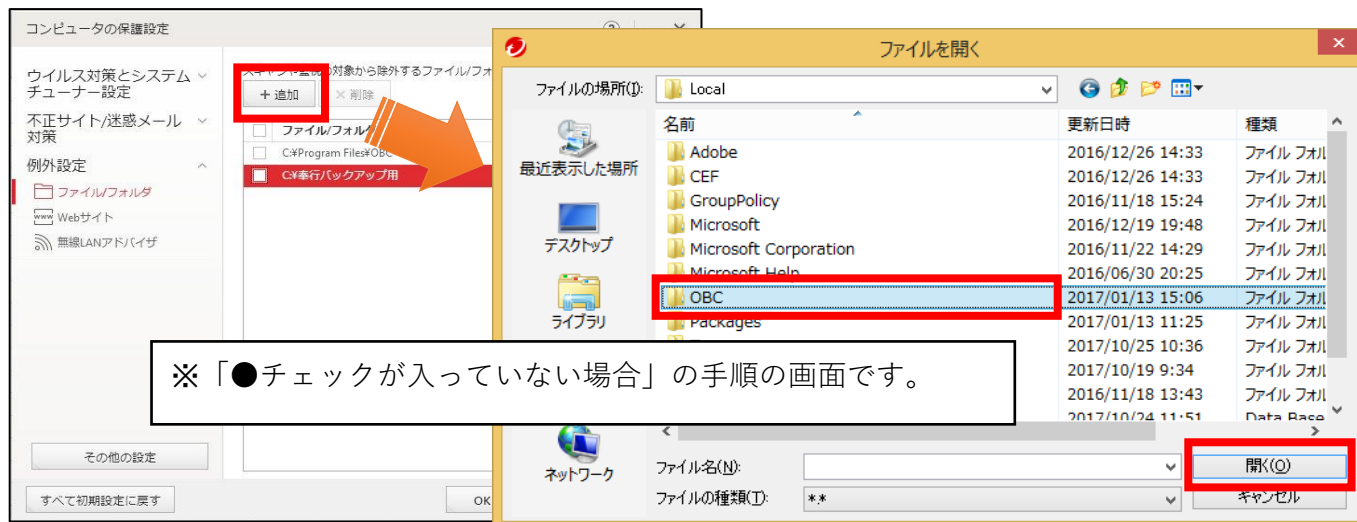
●チェックが入っていない場合

X:¥ユーザー¥（Windowsのログインアカウント）¥AppData¥Local¥OBC¥

※XはOSがセットアップされているドライブです。

※ネットワーク版をご利用のお客様も、作業フォルダはクライアントPC上にあります。


【事前確認1】 がすんだら、作業フォルダを監視対象の除外設定に追加します。

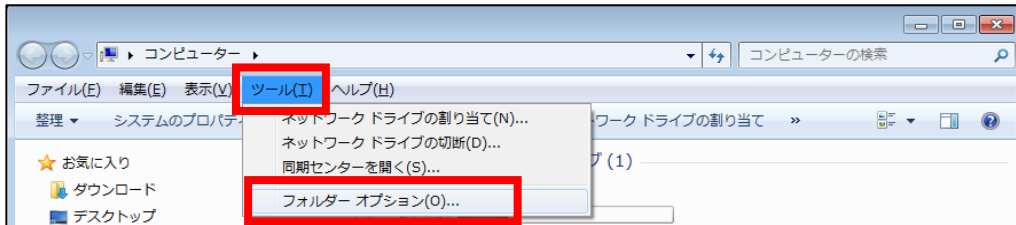


●チェックが入っていない場合で、

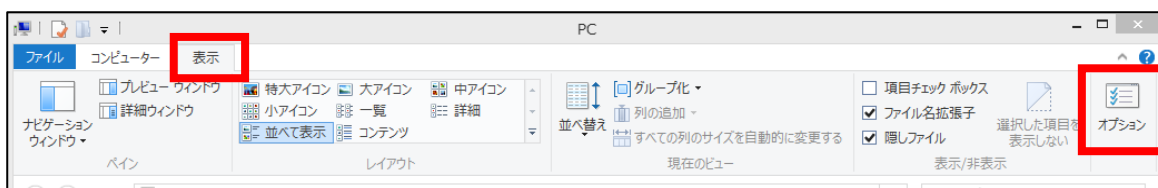
X:¥ユーザー¥ (Windowsのログインアカウント) ¥AppData¥Local¥

が表示されないという場合には以下を設定をします。

- ①キーボードの[Windowsキー ]と[E]のキーを同時に押します。
- ②Windows7の場合：[Alt]キーを押して、[ツール]-[フォルダーオプション]を選択します。

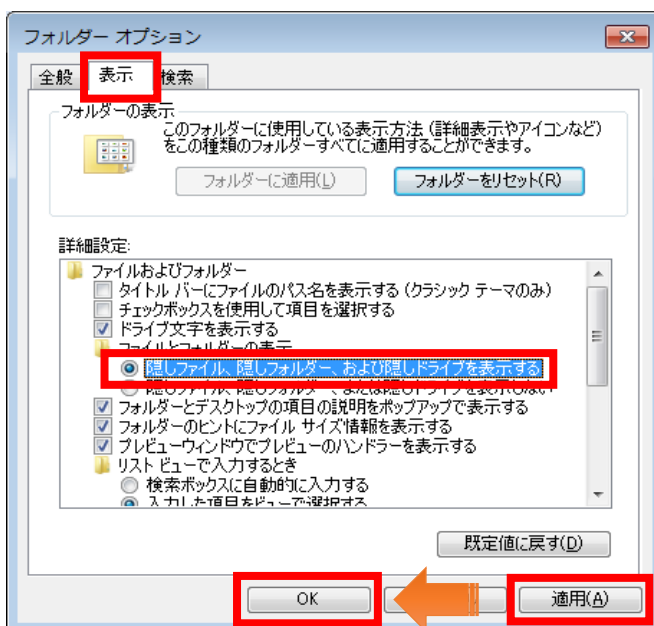


Windows8以降の場合：[表示]-[オプション]を選択します。



- ③[フォルダーオプション]画面が表示されたら、[表示]ページの

「ファイルとフォルダーの表示：隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」にボタンを入れ、[適用]→[OK]をクリックします。



※この設定は、ウイルスバスタークラウド上での除外設定が終わった後に元に戻しておくことをおすすめします。

次に、一時フォルダ (Temp・%Temp%) を追加します。

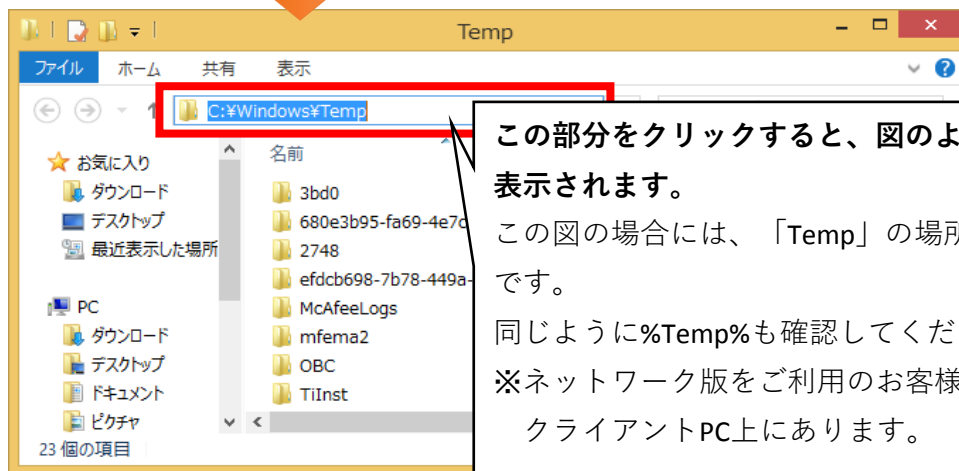
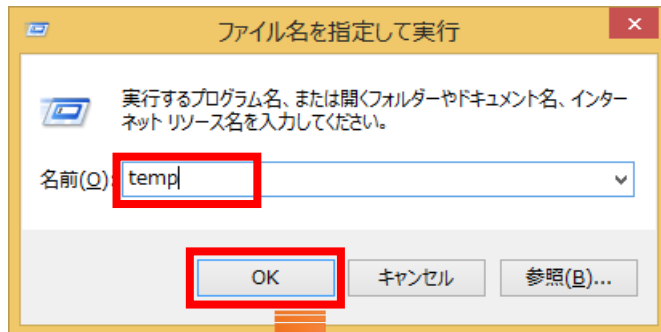
【事前確認2】一時フォルダの場所は、お客様のPC環境により異なります。

以下の手順で確認します。

①キーボードの[Windowsキー ]と[R]のキーを同時に押します。

②[ファイル名を指定して実行]が表示されますので、「名前：」に

「Temp」「%Temp%」とそれぞれ入力して、[OK]をクリックして表示を確認します。



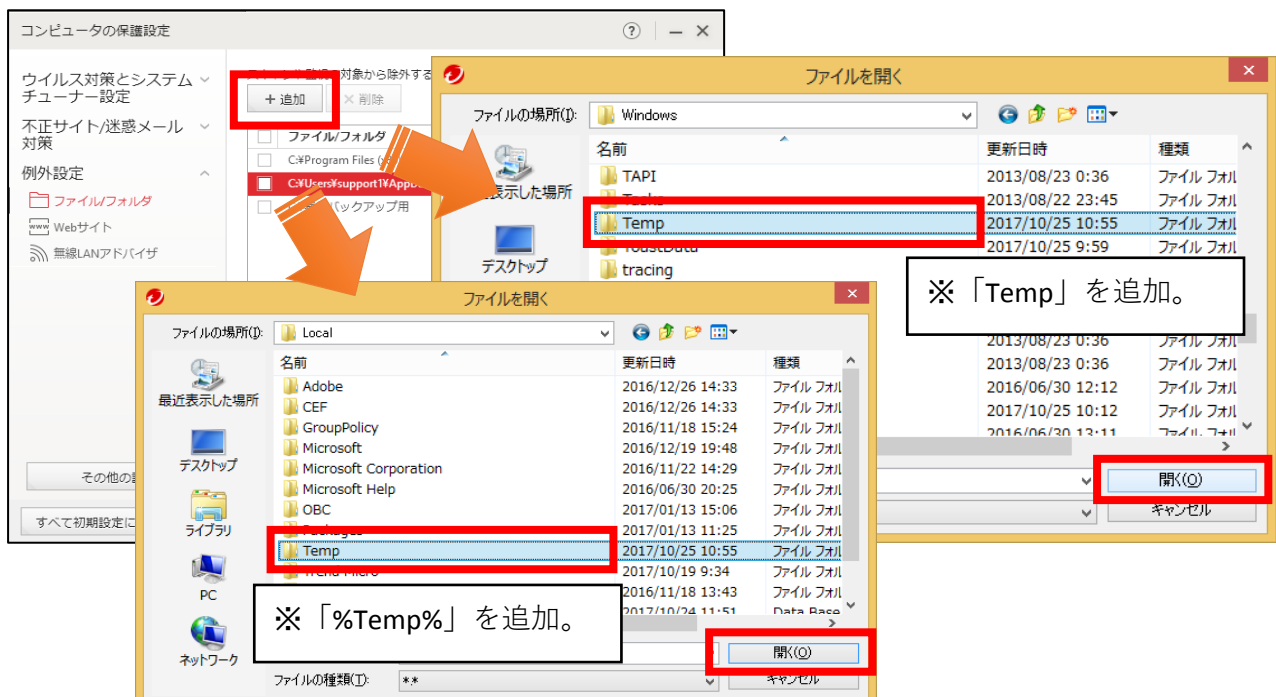
この部分をクリックすると、図のようにフォルダの場所が表示されます。

この図の場合には、「Temp」の場所は C:\Windows\Temp です。

同じように%Temp%も確認してください。

※ネットワーク版をご利用のお客様も、一時フォルダはクライアントPC上にあります。

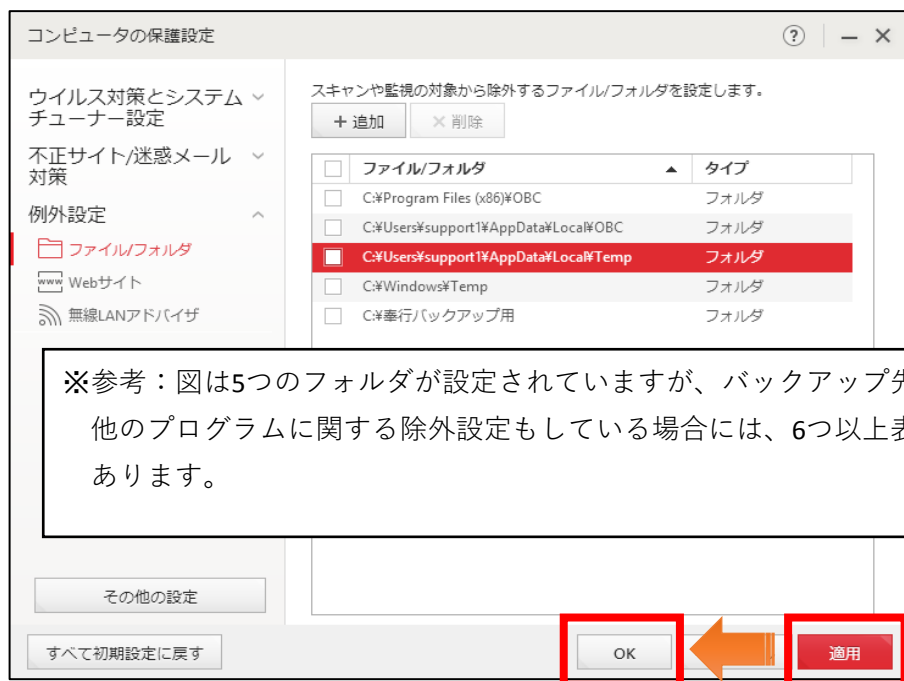
【事前確認2】がすんだら、一時フォルダ（Temp、%Temp%）をそれぞれ除外設定に追加します。



※「Temp」を追加。

※「%Temp%」を追加。

6. フォルダが正しく設定されたことを確認して、[適用]→[OK]をクリックします。



※参考：図は5つのフォルダが設定されていますが、バックアップ先が複数あったり、他のプログラムに関する除外設定もしている場合には、6つ以上表示されている場合があります。

7. 除外設定をきちんと反映させるために、PCを再起動します。

「ウイルスバスタークラウド」や、奉行シリーズその他使用中のプログラムがある場合には終了し、PCを再起動してください。

↑ ↑ --2017/10/25 12:00 追記部分----- ↑ ↑